

選定の概要、審査委員名簿

選定の概要

- 1 応募期間：令和2年7月29日～9月23日
- 2 応募者数：88件(3部門合計)
- 3 審査：審査委員による書類審査及び審査委員会、現地審査を経て、受賞者を決定。
- 4 審査基準：主に取組の持続性、農林水産業の振興への貢献、安定的な生産・供給、利用促進による消費拡大、理解増進について評価。

審査委員名簿

音羽 和紀	オトワレレストラン オーナーシェフ
勝本 吉伸	株式会社シンセニアン 代表取締役
田中 延子	淑徳大学看護栄養学部 東京家政大学 客員教授
中村 貴子	京都府立大学 生命環境科学研究科 准教授
野見山 敏雄	東京農工大学大学院 農学研究院 教授
菱山 まり子	八王子市農業協同組合 生産者
山際 博美	株式会社山際食彩工房 代表取締役

(五十音順・敬称略)

受賞団体一覧

部門(応募件数)	賞	活動主体の名称	ページ
生産部門 (20件)	農林水産大臣賞	農事組合法人 八幡宮農組合 (兵庫県加古川市)	3・4
	全国地産地消推進協議会会長賞	重茂漁業協同組合 (岩手県宮古市)	5・6
	全国地産地消推進協議会会長賞	岩田 章氏 (富山県滑川市)	7・8
食品産業部門 (45件)	農林水産大臣賞	株式会社筑前町ファーマーズマーケットみなみの里 (福岡県朝倉郡筑前町)	9・10
	農林水産省食料産業局長賞	株式会社エマリコくにたち (東京都国立市)	11・12
	農林水産省食料産業局長賞	三河淡水魚株式会社 (愛知県西尾市)	13・14
教育関係部門 (23件)	文部科学大臣賞	石川県立翠星高等学校食品科学研究会 (石川県白山市)	15・16
	農林水産省食料産業局長賞	株式会社敷信村農吉 (広島県庄原市)	17・18



農事組合法人 八幡宮農組合

兵庫県加古川市

日本初の「純国産パスタ」で、
農地を守り、雇用を守り、地域を守る



取組の概要

- 「農事組合法人 八幡宮農組合」(以下「八幡宮農組合」)は、日本初のデュラム小麦(パスタ用小麦)品種「セトデュール」の栽培にチャレンジ。7年の歳月を費やし、平成28(2016)年によりやく商業ベースでの生産に成功しました。
- 生産されたセトデュールは、全量、市内にあるオーマイ(株)加古川工場で製麺し、『小麦の種子栽培から製麺まで加古川育ちの「加古川パスタ」』として、日本初の純国産パスタを地域ブランドにするために、関係者と一体となって取り組んでいます。

取組のきっかけ・経緯

- 八幡宮農組合は、平成17(2005)年に地域の全農家642戸とJA兵庫南の出資により設立。設立当時から6次産業化に積極的に取り組み、組合員の収益向上、購入層の拡大を図り、地元の農地や雇用を守ってきました。
- そんな中、平成22(2010)年から日本初のデュラム小麦(パスタ用小麦)品種「セトデュール」の試験栽培を研究機関の(国研)農業・食品産業技術総合研究機構や実需者である日本製粉(株)などと開始。日本製粉(株)やオーマイ(株)と連携し、全量出荷、地元での製麺による日本初の「純国産パスタ」の誕生に向けて実用的な生産技術の確立に着手しました。
- しかし、セトデュールは、収穫時期が遅く、赤カビ病にかなり弱いという弱点があり、播種・収穫適期の見極めや防除の方法や時期などの栽培体系の確立は困難を極め、7年の試行錯誤の末、平成28(2016)年によりやく商業ベースの生産が実現しました。

地産地消のスキーム

